

安保破棄ニュース

NO. 585 2026・2・15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町9-6 2階
TEL 06-6763-3833 FAX 06-6763-3836
HP <http://www.anpo-osk.jp>
E-mail:qqdw2ud9k@dream.ocn.ne.jp

平和でなければ、市民の命・くらしは守れない！ 名護市長選挙を共に闘って

大阪安保事務局長 守山禎三

2026年の年明け、1月25日投票で沖縄県名護市長選挙が戦われました。

私たち安保破棄大阪実行委員会は、今回の選挙で翁長クミコさんが勝利すれば、辺野古新基地建設をストップさせる大きな力を取り戻すことができ、さらには、「台湾有事」を口実に再び沖縄を、そして全国を戦場化しようとする「戦争国家」づくりにストップをかける、大きな一歩となり得ると大阪の皆さんに訴え、沖縄県統一連が設置した名護市長選事務所に結集し、全国から支援に訪れた人々と共に活動しました。

残念ながら自民・維新・公明・国民民主からの推薦を受けた現市長の3選を許すこととなり、今後の沖縄そして全国の平和を求める国民にとって厳しい結果となりました。

県内外から統一連事務所に駆け付けた人々は、民医連・民商・新婦人・労連などを中心に延べ約2500名、内、県外からは700名余り（大阪から実数31名、延べ102名）。

突然の解散、総選挙が始まったために、まだ市長選挙の総括が行われていないので、不確かなことを言うわけにはいきませんが、若干の私見をお伝えします。

相手陣営のこれまでと同様の政府丸抱え、権力とカネにモノを言わせた集票、そして、徹底して辺野古新基地建設についての言及を避け、賛否を曖昧にする戦術によって公明党の推薦を取り付け、国政では連立を解消しながら、名護では自民党と共に応援を受け、学会の動きによる組織戦に負けたことは否めず、また、投票日直前の「中道改革連合」結成の動きには、疑問を抱かざるを得ません。

今回の選挙を通して、名護市が「戦争国家」づくりの実績にされようとしていることを伝え、「平和でなければ、市民の命・くらしは守れない！」と訴えるチャ



「おながクミコさん応援女性集会」＝1月20日
（左から）吉良よし子参院議員・玉城デニー知事・
おながクミコさん・高良沙哉参院議員・

ンスであったにもかかわらず、抗しきれず、市民の皆さんに伝えきれなかったことが残念でなりません。

しかし、今回の市長選の戦いを通して、新しい動きが生まれていることも事実です。

翁長クミコさんが市長選で示した政策は、4期15年の市会議員としての活動を通して、市民に寄り添い、直接聞いてきた願い、特に、実はとても保守的な沖縄において生きる女性たちにとって、切実で身近な課題に正面から応えた、地に足の着いた力強く説得力のあるものでした。それが、つまりは、子どもたち若者たちに希望を与え、市民のくらしを豊かにすることに繋がる確かな道だということが、多くの女性たちに伝わり、数多くの女性たちが選挙戦に立ち上がりました。

その人々の思いは他の市民の皆さんにも伝わり、確実に今まで以上に多くの女性、そして多くの男性が、私たちの訴えに応えてくれるシーンが増えたことは事実です。

今後は、9月の沖縄県知事選挙勝利に向けて、この動きをより広く強い力へと繋げていくことが望まれています。

今回の名護市長選挙現地支援活動には、安保破棄大阪実行委員会からの呼びかけに応え、10名の

現役世代の方々も参加しました。

ここでは、3名の方から寄せられた感想文を紹介します。



Tさん

11日間活動し、住民の方々に向けての訴えやアナウンスをさせてもらいました。手を振り返して「がんばって！」と励ましてくれる女性や、はじめは目を合わせてもらえなかった建設関係の方々も、後半には少しですが目を合わせてくれたり、手を振り返してくれる方が増えました。

特に辺野古の海岸側の地区では、住民の反応から新基地が完成してからの被害に危機感を持っている様子が伝わってきました。

市街地ではビラを渡しながらか住民の方に「生活はどうですか？」と聞くと「名護市は税金が高いんですよ」「やっぱり物価が高いね」と生活が楽でない事を話してくれました。

半日時間を取って辺野古で抗議船に乗せてもらい、新基地建設を間近で見してきました。政府の圧倒的な力を感じました。抗議船を追いかけて来る海上保安庁の船にも圧力を感じ怖かったです。でも、諦めたくないとも思いました。

どうすれば「基地経済に依存せず生活出来る沖縄」を掲げられるのか考え続けたいです。一人一人に訴え伝えていくのは時間がかかるし、お金を使った方法より即効性は無い。だけど、一過性ではないムーブメントを作るには地道に伝えていくのが大切なんだと感じました。

諦めそうになる時、活動中に手を振り返してくれた親子、おじいおばあやこども達、そして、コツコツと対話をして支持を拡げていた仲間たち、出会った人達を思い出してがんばります。沖縄の民主主義を体験できた事は宝物です。



Nさん

支援に来られている色々な地域の方と一緒にいろんな場所を回って、名護の地域の雰囲気を感じることができ、綺麗な海や景色を楽しむこともできました。

朝の宣伝は、大阪とは異なるやり方で、同じ色のヤッケで多くの人々が並ぶのはインパクトがあり、大阪でもできたらいいなと思いました。

辺野古の基地建設現場では、実際の工事や警備

の様子を直接見、基地建設反対の活動をしている人たちの姿から、基地建設反対の想い、平和への想いを存分に感じることができ、改めて市長選挙の大切さを思い知らされました。

名護市長選挙に参加できたことの意義は大きく、次に向けて考えていきたいと思います。



Yさん

沖縄のことは、今回応援に行くまで、詳しいことは全く分かりませんでした。

大阪にいと、沖縄の基地問題や、戦争でどんなことがあったのかなど、どこか遠い事のように思っていました。普天間基地や嘉手納基地など、真近で見て、戦闘機の音の大きさや基地の広さ、弾薬庫の数の多さなどを肌で感じ、本当に怖いなと思いました。

辺野古新基地建設の現場では、警備員の人が軍隊みたいな感じで立っていて、更に怖くなりました。

これは沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題なのだと感じ、もっと本土の沢山の人間に知ってもらいたいと思いました。特に現役世代の何も知らない方々に広まって欲しいです。

今回名護市長選挙に参加して、沢山の人間が集まれば、これだけのパワーがあるんやなと感じ、一人でも多くの仲間が必要なんだなと実感出来ました。経験したことを今後の活動に活かせたらと思います。

アメリカ・トランプ政権は、ベネズエラへの侵略など国際法違反の軍事行動を続ける意思を表明し、「最強の軍・経済でこそ平和は達成できる」「西半球はアメリカの勢力圏だ」などと、国連憲章・国際法など「ルールに基づく国際秩序」「法の支配」を顧みない「力の支配」を掲げ、1月に発表した「国家防衛戦略」では日本を含む世界中の同盟・友好国にGDP比5%の防衛費を求め、中国抑止に向けて「第一列島線」に強固な防衛体制を構築することを表明しました。

この様なアメリカに対して、同盟関係にある国を含めて世界中の多くの国々が批判する中、日本の高市政権は常々「法の支配」を口にしながら、未だに批判することもせず、一層の対米従属を深めて中国にも届く長射程ミサイルの大量配備や弾薬庫の増設など日本の「ミサイル列島化」を進め、今年中には「安保3文書」を前倒して改定し、「非核三原則」の見直しや殺傷兵器輸出の全面解禁までも

行い、更なる大軍拡を進めようとしています。そればかりか、高市首相は、中国との深刻な緊張関係を生んだ「存立危機事態」発言を撤回しないばかりか、衆議院選挙の中では改憲発言まで行っています。

Nさんは、これらの情勢に関連して、つぎのような感想も寄せてくれました。

「沖縄に到着した日に、読谷村のチビチリガマに行きました。そこでは、偶然ガマの説明をしている方に出会い、ガマの中まで入ることができ、沖縄戦の時、ここで何が起きたのか、話を伺うこともできました。

その方は、沖縄の若者の中にも高市首相の『台湾有事』発言を許容する人が多くいるが、今だけでなく過去（歴史）を学ぶことで考えも変わるのではないかとわれ、とても印象に残りました。」

衆議院選挙の結果がたとえどの様なものになろうとも、私たちは、日本が決して再び「戦争する国」にならないように、声を上げ、「戦争とは何か」「安保の真実」を貼り強く伝え続けなければなりません。

共にがんばりましょう。

（2月4日記）



変わりゆく神戸港

大阪平和委員会事務局長 亀井明子

関西原水協学校が1月24、25日須磨で開かれ、①2026年の内外情勢 ②被曝者運動の歴史 ③核兵器のない平和な世界へ・日本政府は核兵器禁止条約参加を の3本の講演と交流で、しっかり学んできました。せっかくなので、大阪原水協が独自にとりくんだ神戸港の見学にも参加しました。

神戸港クルーズは45分間の遊覧航行で、川崎重工や三菱重工のドックでは潜水艦が見られるとのこと。兵庫原水協事務局長の梶本さんにガイドをしていただきました。

12時15分中突堤中央ターミナルから出航。船は右側通行なので、デッキの右側後方が一番よく見えると教えてもらいました。

港を出て最初に見えてきたが川崎重工。特殊船舶（ジェットフォイルや潜水艦）の造船や修理をしていて、日本で一番大きな浮きドックがあるそうです。浮きドックとは船の修理や点検をする施設です。進んでいくと日本最大の軍需産業、三菱重工が見えてきました。大型コンテナ船などが造られてきた造船所ですが、今は潜水艦の建造のみ。海上自衛隊の潜水艦はこの川崎重工・三菱重工の両造船所でのみ建造・修理が行われているそうです。



三菱重工が建造途中の潜水艦「ちょうげい」。完成時には船体の番号は消すとのこと

クルーズ時に海上自衛隊の潜水艦は停泊してなかったので、アンパンマン記念館の対岸岸壁の川崎造船所に着岸していた海上自衛隊の潜水艦の写真を、兵庫原水協の梶本さんに提供いただきました。



神戸港に浮かぶ海上自衛隊の潜水艦

「非核神戸方式」を守ろう

一般の岸壁に無防備に、しかもアンパンマン記念館の対岸とは、違和感とともに怒りがこみあげてきます。

川崎重工の造船所で米軍の潜水艦の修理や点検を行う計画もあり、そのため「非核神戸方式」に対する攻撃が強まっています。

「非核神戸方式」とは、(1)入港希望該当国に(2)非核証明書（文書）の提出を求め、(3)提出のない場合入港を認めない。1975年、神戸市議会が「核兵器搭載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」を全会一致で採択したことから始まり、50年間堅持してきたものです。

アメリカ追従の政府のもとで、「非核三原則」が脅かされる中、今の神戸港を見ておくことは大事なことです。クルーズの料金は1700円（65歳以上は1500円）で予約なしで乗れますが、今回は神戸港のことをよく知る梶本さんのガイドでより深まったと思います。

444th

23 宣伝行動

(南森町)

1月の「23 宣伝」は「国会開会日宣伝」と重なったため、南森町において合同で行われ(26人の参加)、大阪平和委員会の亀井さんが安保の弁士としてスピーチしました。



亀井さんは、先ず突然の解散・総選挙にふれ、いま、物価高の中で苦しむ私たちの生活、教育や医療や介護の不安、政治とカネの問題、統一協会との関係、そして軍拡が続く安全保障政策をどう転換するのか、その中身こそが問われていると語りかけ、中でも急膨張する防衛費について取り上げ、日本の大軍拡はアメリカの対中国軍事包囲網の最前線に日本を組み込もうとするものであり、加えて、重視すべきは、ベネズエラへの侵略などトランプ政権の無法な行為の数々に高市政権が一言も批判

しようしない問題だと厳しく指摘。

これは、トランプ政権による世界の平和秩序の破壊に加担するものであり、「日米同盟絶対」で「アメリカと共に戦争に突き進んでいいのか」と問いかけ、「国民不在の解散にNO」「軍拡と暮らし切り捨てにNO」「説明なき政治にNO」を突き付ける選挙にしようとして力強く呼びかけました。

アメリカはベネズエラに対する軍事行動をやめろ！ アメリカ領事館前で抗議行動

1月8日、大阪平和委員会・大阪原水協・大阪革新懇・大阪労連の緊急の呼びかけに70人が参加し、アメリカ領事館前で抗議のスタンディングをしました。最後に、領事館に向かって「アメリカはベネズエラへの侵略をするな」「無法攻撃をやめろ」「国際法、国連憲章を守れ」とシュプレヒコールしました。



《当面の日程》

2月

13日(金) 機関紙印刷発行作業 & 事務局会議

10:00～ 大阪安保事務所

13日(金) 近畿安保・合同会議

14:00～ 大阪安保事務所

16日(月) **大軍拡・大增税NO！オンライン連続
学習会①** 18:00～

「憲法9条平和主義をアジアの中で考える」

18日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～

大阪安保 4階会議室

20(金) 「23定例宣伝」行動 12:30～

上六交差点・南東角(大教組 担当)

3月

11日(水) 全国代表者会議 14:00～17:00

全労連会議室

**大軍拡・大增税NO！オンライン連続
学習会②** 18:00～

「スパイ防止法と改憲のゆくえ

～衆議院選挙結果を受けて」

13日(金) 機関紙発行作業 & 事務局会議

10:00～ 大阪安保事務所

18日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～

大阪安保 4階会議室

23日(月) 「23定例宣伝」行動 12:30～ 未定

4月

9日(木) **大軍拡・大增税NO！オンライン連続
学習会③** 18:00～

「政治の流れと平和への課題」

10日(金) 機関紙発行作業 & 事務局会議

10:00～ 大阪安保事務所

15日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～

大阪安保 4階会議室

16日(木) **近畿安保オンライン学習会** 18:00～

「日米地位協定」

23日(木) 「23定例宣伝」行動 12:30～ 未定

